

保証書付き

ティモニ

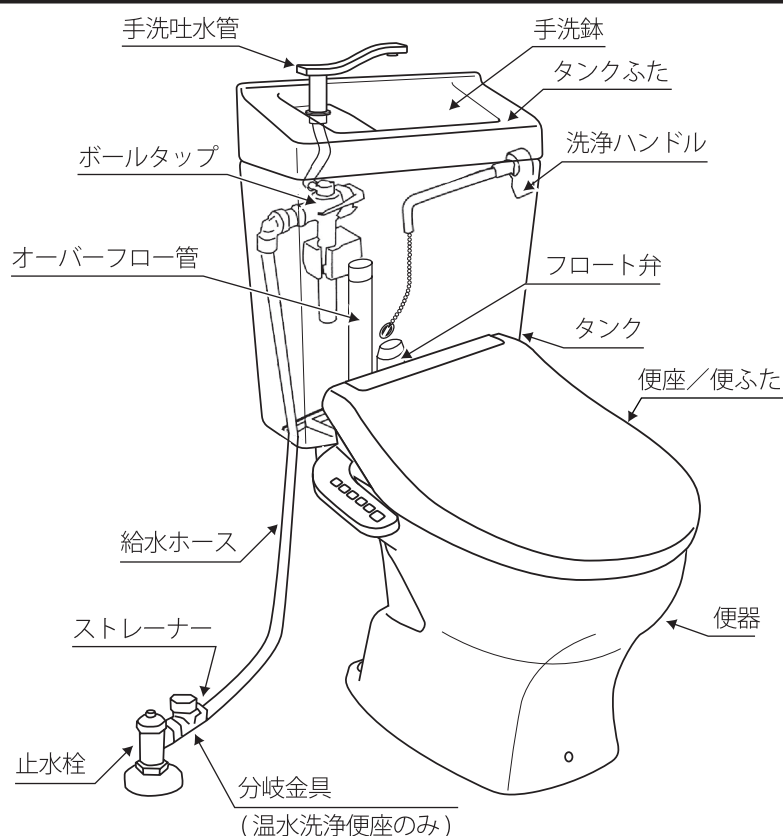
Fシリーズ

FTシリーズ

Bシリーズ

Sシリーズ

各部の名称と働き



※本図はFシリーズを示す。

<p>止水栓 水道水はここを通過してボールタップに行きます。保守・点検等で水を止めたり、給水量の調整を行うための弁です。</p>	<p>ボールタップ 水はここからタンクに入り、一定量溜まると浮玉の浮力により、自動的に水を止め、洗浄ハンドル操作と同時に自動的に給水を始めます。</p>	<p>ストレーナー ボールタップの中に配管内のゴミや砂等が入ると、故障の原因になります。これらのゴミや砂等がボールタップに入るのを防ぎます。</p>
<p>洗浄ハンドル フロート弁を持ち上げて、タンク内の水を便器内に流す役目をします。</p>	<p>フロート弁 洗浄ハンドルを操作することによりタンク内の水を便器内に流し、一定量流すと自動的に止水します。</p>	<p>オーバーフロー管 万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、タンクから溢れる前に、ここから便器の方へ水を流します。</p>

もくじ

はじめに

各部の名称と働き …… 表紙
安全上のご注意 …… 1

使いかた

使いかた …… 3

お手入れ・こんなときは

お手入れのしかた …… 3
長期間使用しない場合 …… 4
凍結防止について …… 4
調整方法 …… 5
修理を依頼される前に …… 5
アフターサービス …… 6
保証書 …… 裏表紙

このたびは当社ティモニシリーズをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。





- ◆ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に、「安全上のご注意」については、必ずご使用前にお読みいただき、安全にお使いください。
- ◆この取扱説明書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- ◆この取扱説明書は、裏表紙が保証書になっています。
- ◆温水洗浄便座については、温水洗浄等の取扱説明書をお読みください。





安全上のご注意






ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味

-  **警告** …… 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
-  **注意** …… 障害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
-  …… してはいけない禁止の内容です。
-  …… 必ず実行していただく強制の内容です。

 警告	
<p> 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造を行わない。 ※故障したり、思わぬケガをするおそれがあります。</p>	<p> 電源プラグや電気製品に水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤、シンナー等を使用しない。 ※破損や火災・感電の原因になります。</p>
<p> タバコや灰皿、ストーブ、ヒーター等の火気類を近付けない。 ※火災や故障、変色の原因になります。</p>	<p> 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 ※感電の原因になります。</p>
<p> 電源コードを無理な力(曲げ・折れ・ねじれ)で傷付けたり、加工を絶対行わない。 ※火災や感電の原因になります。</p>	<p> 雷が発生しているときは、電源プラグに触れない。 ※感電の原因になります。</p>
<p> 電源は交流100Vを使用し、コンセントにガタつきの無いことを確認のうえ、根元まで十分に差込む。 ※交流200Vや直流電源を使用すると、火災や故障の原因になります。</p>	<p> 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く。 ※コードが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p> お手入れの際は、電源プラグを抜いてから作業する。 ※感電の原因になります。</p>	<p> 電源プラグに付いたホコリは定期的に取り除く。 ※火災や感電の原因になります。</p>
<p> 水がかかったり、陶器の表面に結露が生じるような浴室等では、絶対に使用しない。 ※漏電による火災や感電、故障の原因になります。</p>	

 注意	
<p> 陶器に熱いお湯をかけたり、衝撃を与えたりしない。 ※漏水のため家財を汚す原因になることがあります。</p>	<p> 給水ホースを無理に折曲げたり、傷を付けたりしない。 ※漏水や作動不具合の原因になります。</p>
<p> 便座や便ふたの上に乗ったり、重いものを載せたりしない。 ※破損してケガをするおそれがあります。</p>	<p> 便器に強い力や衝撃を与えない。 ※破損してケガや漏水の原因になります。</p>

⚠ 注意

<p>⊘ 便器に汚物が付着したまま放置しない。 ●樹脂製ブラシで汚れを落とし、洗い流してください。 ※乾燥して取れにくくなる場合があります。</p> 	<p>⊘ 便器には新聞紙、ティッシュペーパー、紙おむつ、生理用ナプキン等、汚物やトイレットペーパー以外の物は流さない。もし誤って便器内に落とした場合には、必ず拾い出す。 ※便器が詰まり、汚水が溢れて家財に損害を与えるおそれがあります。</p> 
<p>⊘ 陶器にヒビが入ったり、割れたりした場合、破損部には絶対に素手で触らない。 ※破損部でケガをするおそれがあります。</p> 	<p>❗ 必ずタンク内が満水になってから水を流す。 ※タンク内が満水になる前に水を流すと洗浄不良や詰まりの原因になり、家財に損害を与えるおそれがあります。</p>
<p>❗ 便器が詰まった場合は、市販のラバーカップ等を使用して詰まりを除去する。 ※詰まったまま水を流すと、汚水が溢れて家財を汚す原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">ラバーカップ</p>	<p>❗ 結露が発生した場合は、乾いた布等で拭取る。 ※結露は、床にシミが発生したり、腐ったりする原因になることがあります。</p> 
<p>❗ ボールペン、くし、歯ブラシ、携帯電話等を便器に落とした場合は必ず拾い出す。 ※便器が詰まり、汚水が溢れて家財を汚す原因になります。</p> 	<p>⊘ 直射日光を当てない。 ※変色の原因になります。</p> 
<p>⊘ タンク内に異物を入れない。 ※水量不足により洗浄不良・便器詰まりを起こし、汚水が溢れ、家財に損害を与えるおそれがあります。</p>  <p style="text-align: center;">ピン類</p>	<p>⊘ 手洗鉢で手を洗うときは、石けん等を使用しない。 ※故障の原因になります。</p>  <p style="text-align: center;">手洗吐水管</p>
<p>⊘ 手洗鉢の中に造花等の飾り物を置かない。 ※止水不良の原因になったり、手洗鉢から水が溢れて、家財に損害を与えるおそれがあります。</p>  <p style="text-align: center;">飾り物</p>	<p>⊘ タンクふたを外したまま使用しない。 ※タンクから水が噴出し、家財を濡らす原因となります。</p> 
<p>⊘ 洗浄芳香剤等をタンクの中に入れない。また、手洗鉢にトイレ用芳香洗浄剤を置かない。 ※漏水や止水不良・作動不良の原因になり、家財等損害を与えるおそれがあります。</p> 	<p>❗ 凍結のおそれがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。 ※凍結破損により室内浸水の原因になります。</p>
<p>⊘ 大量のトイレットペーパーを一度に流さない。 ※便器が詰まり、汚水が溢れて家財に損害を与えるおそれがあります。</p>	<p>⊘ 定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。 ※部品の劣化等による水漏れが発見できず、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>⊘ お手入れに酸性・アルカリ性・塩素・フッ素系洗剤、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類は使用しない。 ※洗剤によっては気化ガスが発生することにより、便座やタンク等の内部器具を傷め、止水不良・部品破壊・外部漏水等の不具合が発生し、家財に損害を与えるおそれがあります。また、樹脂製品が変色・溶解・破損等が発生するおそれがあります。</p>	

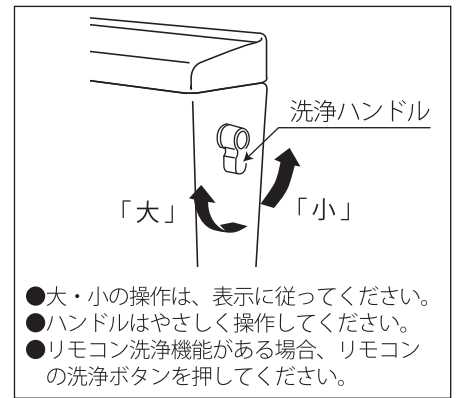
使いかた

■便器内の洗浄方法

- 用便後、汚物を流す際には洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。
「大」：通常洗浄時にお使いください。
「小」：小用の場合にお使いになると、洗浄水が少なくてすみます。
- 紙は便器内の水溜まり面へ投入してください。

■断水したときの便器内の洗浄のしかた

- ①バケツ1杯(5~6L)の水を、水飛びに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。
 - ②最後に便器内の水位が通常の高さになるように3~4Lの水を注いでください。
- うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く(短時間に一気に)して、再度行ってください。
 - 小洗浄も同じように流してください。



⚠注意

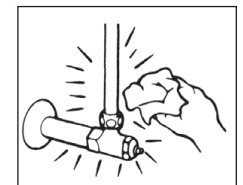
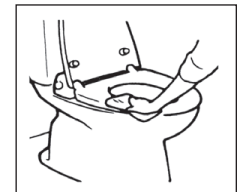
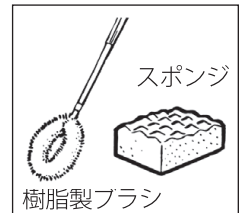
❗ 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の小用の場合、「小」で使用すると紙が流れない場合がありますので、「大」の方でご使用ください。 ●タンク内が満水になってから水を流してください。 ※手洗付き便器の場合、手洗吐水管から水が出ているときは洗浄を避けてください。 ※満水になる前に水を流すと洗浄不良や詰まりの原因になり、家財に損害を与えるおそれがあります。 ●汚物や紙の量に応じ、大洗浄・小洗浄を使い分けてください。 ※汚物の大きさや量、比重の違い、紙の量によっては2度以上の洗浄が必要となる場合があります。
🚫 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●一度に大量の紙を流さないでください。 ※便器・排水管の詰まりの原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●汚物は個人差や体調によって異なります。 ※汚物の量や状態によっては、便器水溜まり面周辺、水中の陶器表面にも汚物が付着し、水のみでは洗い流せない場合があります。

お手入れのしかた

- 商品の機能や性質を保つために、清掃や消耗部品交換等、日ごろから適切な維持管理を行ってください。
※クレンザーやみがき粉等の研磨剤の入った洗剤は、表面を傷付けますので使用しないでください。

■便器内(陶器)のお手入れ

- 便器の洗浄面は水で洗われますが、便の状態によっては付着して落ちにくいことがあります。そのまま放置しておくと、乾燥して取れにくくなりますので、汚れたらすぐに洗い流してください。汚れがひどい場合は、樹脂製ブラシやスポンジに中性洗剤を含ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
- 洗剤等を使用するときは、使用後ただちに洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしてください。
※便器や便座等に付いた洗剤は確実に拭取ってください。
※洗剤によっては気化ガスが発生することにより、便座やタンク等の内部器具を傷め、止水不良・部品破壊・外部漏水等の不具合が発生し、家財に損害を与えるおそれがあります。
また、樹脂製品は変色・溶解・破損等が発生するおそれがあります。



■便座・便ふた等(樹脂部)のお手入れ

- 水で濡らしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を100倍程度に薄めてやわらかい布に含ませ、拭き洗います。
その後、必ず水で濡らしたやわらかい布をよくしぼって拭いてください。

■止水栓(金属メッキ部)のお手入れ

- やわらかい布でカラ拭きしてください。時々ミシン油やカーワックス等を含ませた布で磨いてください。

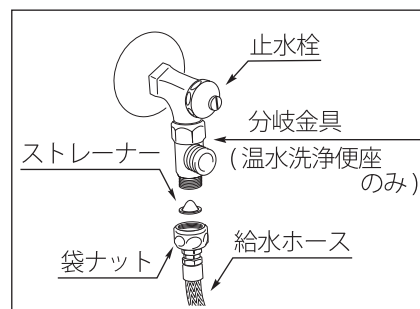
⚠注意

❗ 必ず実行	●お手入れの際は、電源プラグを抜いてから作業してください。※感電の原因になります。
🚫 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●熱湯は使用しないでください。 ●ガラス質を侵すフッ素化合物の入った洗剤は使用しないでください。 ●表面を傷付けるおそれのあるクレンザーやみがき粉、金属またはナイロンたわし・ブラシ等は使用しないでください。 ●酸性・アルカリ性・塩素・フッ素系洗剤、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類は使用しないでください。

お手入れのしかた

■ストレーナーのお手入れ

- 以下の要領でストレーナーのゴミを取除いてください。
 - ①止水栓をマイナスドライバーやコインで右方向に回して閉じ、給水を止めます。
 - ②給水ホースの袋ナットをスパナ等でゆるめ、取外します。
このとき、布きれ等で金具を保護してください。
※止水栓や分岐金具、給水ホース内には水が溜まっていますので、必ず容器で水を受けてください。
 - ③給水ホースの入口に組込まれているストレーナーを取外して、掃除します。
 - ④ストレーナーの掃除後、元のように取付けて給水ホースの袋ナットを締付けます。
 - ⑤止水栓を開き、漏水確認をしてください。



■結露について

- 温度と湿度の条件により、便器や止水栓等に結露することがあります。
結露が生じた場合は、乾いた布で拭取ってください。
※床のシミや腐食の原因になります。

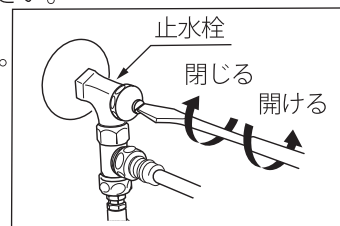
長期間使用しない場合

- 旅行等で長い間使用しないときは、万一の故障や水漏れを防ぐために以下の操作を行ってください。

■止水栓を閉じる

止水栓を閉じるときに止水栓の開度を確認しておき、開けるときに同じ開度で戻してください。

- 止水栓をマイナスドライバーやコインで右方向に回して閉じ、給水を止めます。
※止水栓は施工時に給水量を調整しています。再使用時に必ず元の位置に戻してください。
- 水道配管に水抜き栓が設置されている場合は水抜き栓の操作も併せて行ってください。

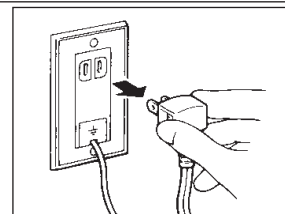


■タンク、便器内の水を抜く (凍結のおそれがある場合)

- タンクからの排水が止まるまで洗浄ハンドルを回し、便器内の溜水を汲出した後、バスタオル等でふさいでください。
- 不凍液を使用する場合は、そのまま流さずに正しい廃棄処理を行ってください。
※適切な処理を行わないと、浄化槽の機能低下や環境汚染等のおそれがあります。

■電源プラグを抜く

- コンセントから電源プラグを抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。

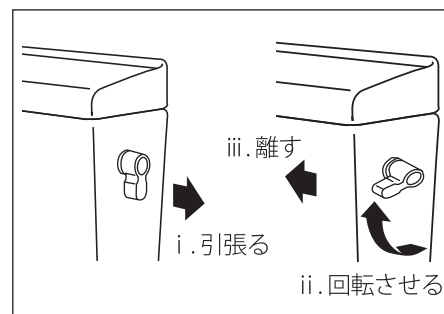


凍結防止方法

凍結のおそれがある場合は、下記の処置を行ってください。

■トイレ内および製品の凍結防止について

- 室内を暖房してタンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。
- 寒冷地仕様 (ヒーター付き便器) の場合
 - ①凍結防止ヒーターの電源プラグをコンセントに差込んでください。
 - ②水抜き栓 (不凍栓) を操作して給水を止めてください。
※止水栓は閉じずに、開けたままにしてください。
 - ③水抜き式タンクの場合は、洗浄ハンドルをロックして、タンクの水を抜きます。
※水抜き式タンクでない場合は、排水し終わるまで、洗浄ハンドルを回し続けてください。



【ロック方法と解除方法】

- i. ハンドルを横に引張りませす。
 - ii. ハンドルを手前に約100度回転させます。
 - iii. 手を離して、ロックされていることを確認します。
※解除する場合はハンドルを横に引張って、ロックを解除してください。
- ④タンクの給水ホースが止水栓の位置より下がっている場合は、止水栓から給水ホースを外して給水ホース内の水を抜いてください。水抜き後、給水ホースを止水栓に接続してください。
※パッキンやストレーナー、接合部にゴミが付着していないことを確認して接続してください。
※便器の止水栓開度によっては、止水栓内の残水が凍結し、再通水に時間がかかる場合があります。
※凍結防止ヒーターの作動中は、ヒーターの熱で溜水が蒸発して便座や便ふたが濡れることがあります。
※洗浄ハンドルを排水し終わるまで回し続けてください。
※温水洗浄便座や手洗キャビネット等の凍結防止方法は、それぞれの取扱説明書を確認して行ってください。

■トイレ内の使用限界温度について

- 凍結防止をしていただいても、下記条件から外れると凍結するおそれがありますのでご注意ください。
 - ・寒冷地仕様 (ヒーター付き便器+水抜き式タンク) の場合 …… -15℃
 - ・上記以外の便器 …… 0℃
 - ・温水洗浄便座を使用している場合 …… 0℃
- ※使用限界温度以下になる場合は、暖房等により室温を限界温度以上に保ってください。
※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

調整方法

●器具は、出荷時および施工時に調整してありますが、不具合があったり何かの都合で動かした場合、機能を十分発揮できるように、調整をしてください。

●〔給水量の調整〕→〔止水位置の調整〕の順番で同時に行ってください。

■〔給水量の調整〕

●ボールタップが故障して止水しない場合でも、タンクから水が溢れないようにするため、必ず給水量を調整してください。

①止水栓を閉じ、ゆっくりとタンクのふたを外します。

※強く引上げると、漏水の原因になります。

③陶器タンクの場合は、インナータンクカバーを外します。

※インナータンクカバーの四角のツメを順番に外します。

④手洗無し便器の場合は、止水栓を少し開きます。

手洗付き便器の場合は、手洗吐水管への接続ホースをタンク内に向けて入れ、水が飛び出さないようにしてから止水栓を開きます。

⑤フロート部を押下げたまま、水面がオーバーフロー管の上端より10mm以上上昇しない程度(※)になるか確認してください。

⑥③または④と⑤を繰り返し、(※)になるように止水栓の開きを調整してください。

■〔止水位置の調整〕

●給水量を調整した後、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されている「W.L」ラインに合うように、フロートを上下させて調整してください。(シリーズ別W.L調整位置参照)

※水位(以下、W.Lとします。)を下記「シリーズ別W.L調整位置」より低くしないでください。

【フロートの移動方法】

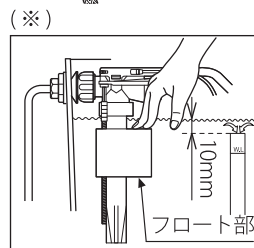
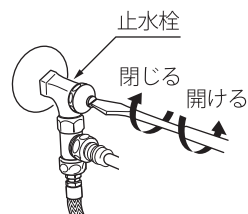
調整ボルトを右に回すとW.Lが上がり、左に回すとW.Lが下がります。

●調整が終わったら、陶器タンクの場合は、インナータンクカバーをタンクに取付けます。

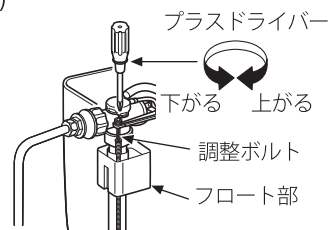
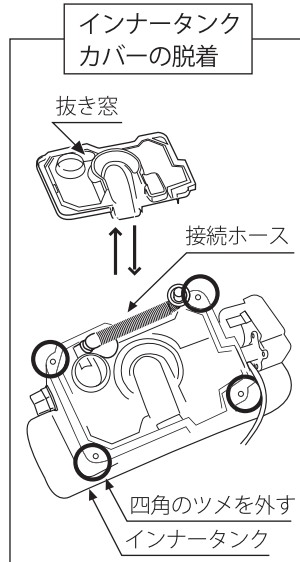
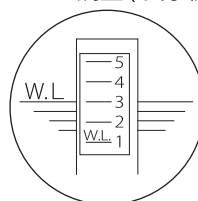
※インナータンクカバーの四角を確実にタンクのツメに掛けて取付けてください。

※手洗付き便器の場合は、接続ホースをインナータンクカバーの抜き窓から取出してください。

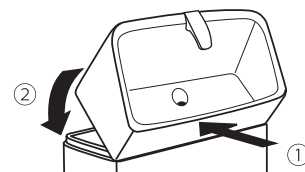
※樹脂タンクの場合は、ふたの間口を広げながら手前からかぶせて裏側のフックをタンクにはめ合わせてください。(右図参照)



W.Lの調整(表示例)



●樹脂タンクふたの取付け方

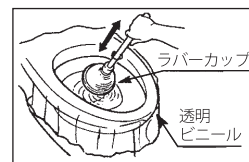


●シリーズ別 W.L 調整位置

シリーズ	F		B/S		
タンク材質	陶器	陶器	樹脂	樹脂	樹脂
便器排水仕様	床	壁	床	壁	床
W.L調整位置	1	3	2	2	3

修理を依頼される前に

現象	原因	処置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取除きます。 ①便器排水口をふさぐようにしてラバーカップを静かに押付けます。 ②勢いよく手前に引いたり、便器排水口に向けて押付けたりを数回繰り返します。このとき、透明ビニール等でカバーしておくことで汚水の飛び散りを防ぐことができます。
タンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(4ページ参照)
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。 紙を多めに流していませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(4ページ参照) 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと、紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。(3ページ参照) 1度に流す紙の量は、大洗浄では5m以内を目安にしてください。
便器内に水が流れ続ける(水が止まらない)	補給水ではありませんか。	便器の溜水を確保するための補給水です。 洗浄してから5分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。
洗浄時に、洗浄した水がはねる		便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。
用便時に水がはね返る(おつり)	便器に水溜まりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため、構造上避けられない現象です。	あらかじめ、紙を浮かせてご使用頂ければ軽減できます。
子どもの便が付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。	
手洗吐水管の水が少ない(手洗付き便器の場合)	止水栓が十分開いていますか。 ストレーナーが目詰まりしていませんか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4回転程度戻します。 ストレーナーの掃除をします。(4ページ参照)
バリウムが流れない	バリウム等水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物を樹脂製ブラシ等で細かくした後、数回洗浄してください。



アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルにご連絡ください。



0120-557-910 受付時間9:00~18:00(土日祝、夏季・年末年始休業日を除く)

※PHS・携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品品番
- (2) 異常の状況
- (3) ご購入年月日
- (4) お名前・ご住所・お電話番号

【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

■インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

タカラスタンダードお客様サポートサイト <https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。
修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈よくあるご質問〉

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。
修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

〈消耗品・小物のご注文〉

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。

※一部、取扱いのない商品もございます。フリーダイヤル(0120-557-910)までお問い合わせ願います。

※お客様の個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関連会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い求めの販売店または、P.6に記載のフリーダイヤルに修理をご依頼ください。

品名：	保証期間	取付け・引渡し日より2年：全般
品番：		取付け・引渡し日より5年：防水機能
お客様 お名前	取付け・引渡し日	年 月 日
ご住所		販売店
電話番号		

※防水機能保証範囲例：便器や洗面器等の水受け容器のひび割れによる水漏れ等の場合に適応されます。

無料修理規定(保証規定)

- 「取扱説明書」「製品貼付ラベル」等の注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合、表記の期間無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの販売店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品等で、本書に記載の販売店に修理をご依頼できない場合は、P.6に記載のフリーダイヤルにご相談ください。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①一般家庭以外(例えば車両、船舶への搭載、業務用等)に使用された場合の故障および損傷
 - ②使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障および損傷
 - ③適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
(例)水あか固着、給水管、排水管の詰まり
 - ④温泉水、井戸水等にあつて水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
 - ⑤第三者によるメンテナンス上等の不備(修理、分解、改造、移動等)に起因する不具合
 - ⑥指定業者や設置説明書に基づかない設置や当社による設置工事以外に起因する不具合、および当社設置後、入居までの間の管理不備による不具合
 - ⑦お取付け後の移設、輸送、落下等による故障および損傷
 - ⑧建築躯体の変形等対象商品以外の不具合に起因する故障および損傷
 - ⑨塗装の色あせ等の経年劣化または使用に伴う摩耗、コーキングの切れ、さび、カビ、変質、変色その他類似の事由による場合
 - ⑩海岸付近、温泉地等の地域における腐食性空気循環および公害環境(煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガス等各種ガス)に起因する故障や損傷
 - ⑪ねずみ、犬、ねこ等の動物や昆虫等に起因する不具合
 - ⑫火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - ⑬消耗部品(パッキン、電池、電球等)の消耗に起因する不具合
 - ⑭砂やゴミ等の異物流入による不具合
 - ⑮自然現象や住環境に起因する凍結、結露、音鳴り等の現象およびそれらに起因する損傷
 - ⑯異常電圧、指定外の使用条件(電源、電圧、周波数、水圧等)による故障および破壊
 - ⑰傷等の外観の不具合で、引渡し時に申し出がなかったもの
 - ⑱保証書の提示がない場合、保証書にお客様名、販売店名、お引渡し日の記入の無い場合(領収書等で前記内容がわかる場合はこの限りではありません)、あるいは字句を書換えられた場合
 - ⑲保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、すみやかに申し出がなかったもの
 - ⑳離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書の取付け・引渡し日、販売店、お客様の欄に記載の無い場合、あるいは字句を書換えられた場合は無効となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等、ご不明な点がある場合は、お買い求めの販売店または、P.6に記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号